

のり子奥村の 議員会県
のり子奥村の 議員会県

2013年3月31日 第77号

—奥村のり子生活相談所—

〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11

電話&FAX 073-427-7121



御坊市産廃処分場
県が設置を許可

まともな説明会も
開かず強権的に

御坊市塩屋町森岡地区への産業廃棄物最終処分場建設の中止を求める署名4800筆を、森岡産廃の中止を求める塩屋の会と産廃から御坊・日高の自然を守る連絡会が県に届けているにもかかわらず、3月25日に県が設置許可を出しました。予定地から200メートル直近には3000食をまかなう市立給食センターがあります。

最終処分場にはアスベストを含んだものも投棄されます。15年間で甲子園球場の2倍もの面積に、最高60メートル以上の高さに積み上げられます。1年半前の紀伊

も事業者説明会に参加しましたが時間の制限もあり全く不十分なものでした。2月定例会の福祉環境委員会では再度、県として住民の声を真摯に受け止め今後も説明会を重ねて実施することを求めたところでした。強権的な県の姿勢に抗議をします。(のり子)



昨年11月19日の現地調査。右端がのり子です

和歌山のみなさん
こんにちは
山下よしき
です



3月16日、日本共産党主催の「いじめシンプオ」のパネラーとして参加しました。目の前の「いじめ」から子どもの命をどう守るか、深刻化する「いじめ」の根本にながめるか、3時間語り合いました。参加者から「今まで多くのシンプオに参加してきたなかで最高」「多くの人とつながりがあったからこそ遺族の願いも実現していける」などの感想をいただきました。党いじめ対策チーム責任者として準備の苦労もありましたが、本当にやってよかったと思っています。「いじめ」問題を解決するためには、みんなで考え、話し合うことが一番大事ですね。シンプオと党の提案が、地域や学校での集いや懇談の力になるならこんなうれしいことはありません。

熱い焦点で総理と論戦

3月の国会では、参議院本会議代表質問で安倍首相に復興、TPP、オスプレイと熱い焦点で追求。総理も非正規雇用の増大が低年金や少子化の一因になっていると認め、若者の能力をすりつぶす「ブラック企業」の調査と指導に言及させたことは今後に生かすことができそうです。「ブラック企業」のやりとりを知った若い方から「こういう政治家さんもいるんだ、ありがたいな」と思いました」とメールが届きました。

今国会が終るといよいよ7月の参議院選挙です。もっとたくさん国民の思いを届けられる国会にするため、国会議員団をなんとしても大きくしなければと痛切に感じる毎日です。(党書記局長代行、参議院議員、

半島への集中豪雨や地震などの災害に対する安全性の問題など住民のみなさんにとって、疑問や不安は解消されていません。

滝畑産廃地の地質は?

2月議会で、滝畑の産廃建設計画予定地の地形・地質の危険性について質問しました。「産廃計画予定地の地質・地形・地震などの危険性について専門家の意見を聞く事や実地調査の中で、計画予定地が地形的にも地質的にも崩壊しやすい所だと指摘されました。市として産廃計画予定地の地形・地質等に関する危険性をどのように把握し、認識しているのか」との質問に、危機管理局長は、「林野庁の基準に基づき和歌山県が定めた山地災害危険地区に一部隣接するが含まれない。建設予定地の約2km南側を走る中央構造線の地震が発生した

党市議会議員
南畑幸代



「地滑り地形であり、留意すべきデータ」と市答弁

私は計画予定地が地震だけでなく危険地域に隣接しており、豪雨などによって深層崩壊がおこる危険性が明らかになったことで一層強く許可すべきでないと思いましたが。市長に「住民の命や暮らしを守る責任が鋭く問われている。再度計画を許可すべきでない」と要求し、質問を終わりました。(写真は街頭宣伝の際、産廃反対の看板の前で奥村のり子県議と左川とともに)



Relay talk

のり子の活動日程 (主なもの)

3月29日	朝市駅前宣伝あと街頭宣伝、庁内訪問
3月30日	守ろう9条・紀の川市民の会
3月31日	孫市まつりボランティア
4月1日	地域訪問
4月2日	地域訪問
4月3日	党県議団会議、庁内訪問
4月4日	地域交流会、無料生活相談日